

令和6年度幼稚園評価の結果報告

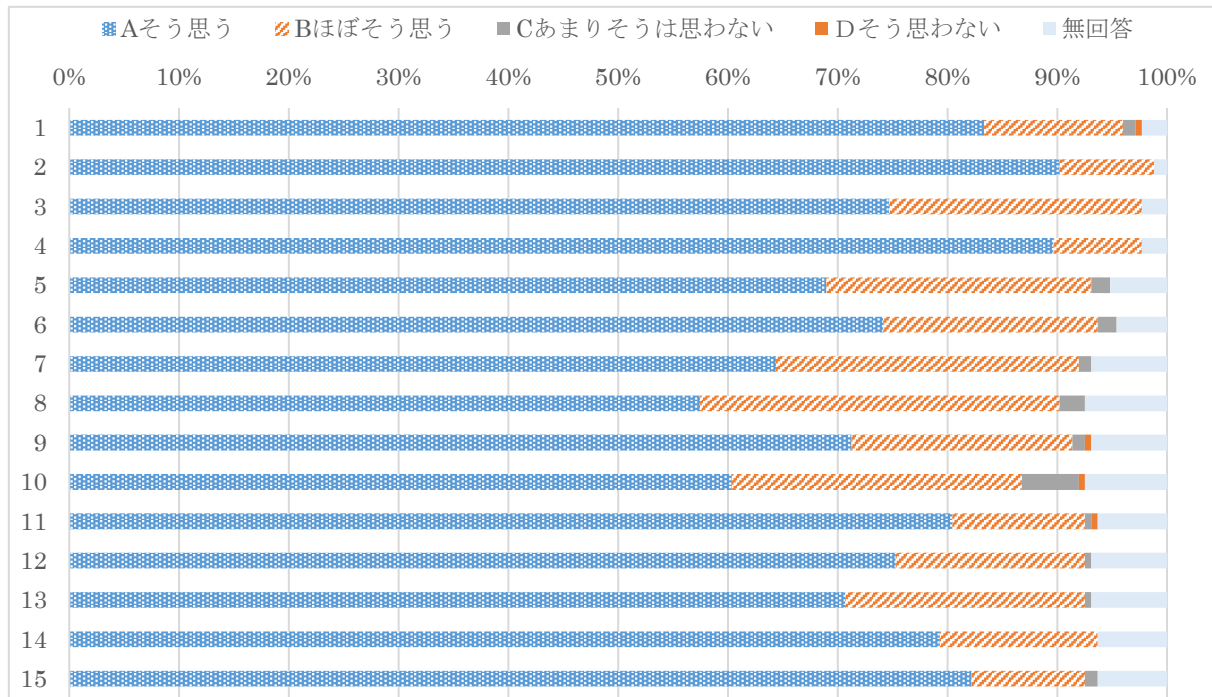
越谷くるみ幼稚園 令和7年2月12日

令和6年度の学校評価として、年末に保護者の皆さまに学校関係者評価と教職員に自己評価を実施しました。保護者の皆様へは今回、連絡アプリによるアンケート調査を行いました。その結果、回答率も非常に高く、多くの貴重なご意見をいただきました。協力いただきました保護者の皆さまには厚く御礼申し上げます。

これからのより良い保育、幼稚園活動の質の向上に向けての具体的な方策に結び付けていきます。

(園長 岩城悟)

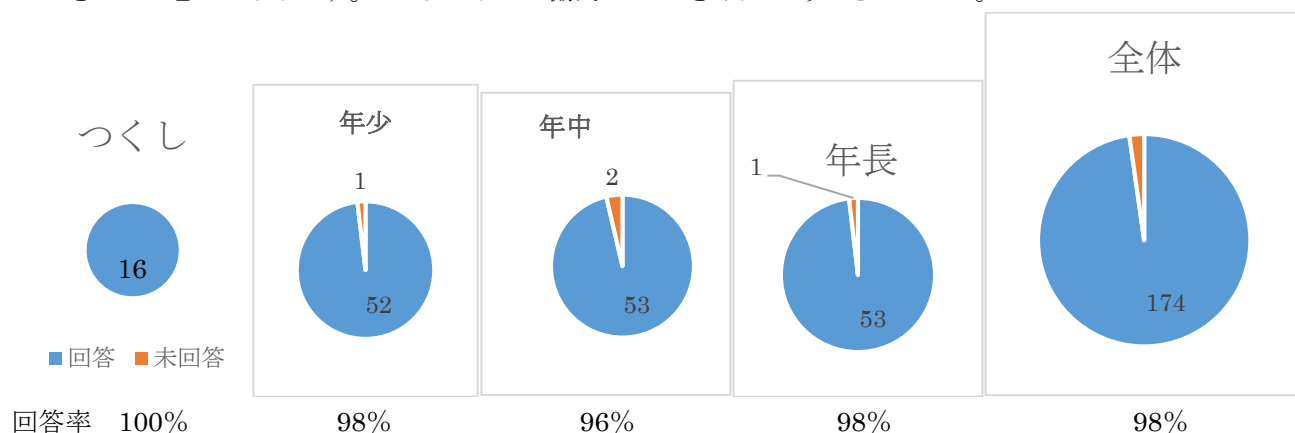
1. アンケート結果集計



1. お子さまは幼稚園で園生活を楽しんでいると思われますか？
2. お子さまは園生活、行事等で的確に成長していると思われますか？
3. 幼稚園は、教育目標や教育方針を分かりやすく伝えていきますか？(入園説明会や学年だより、インターネットなどで)
4. 幼稚園は、くるみガーデンでの収穫体験等で子どもの食に対する関心を育てていますが、良いと思われますか？
5. 幼稚園では、子どもの発達段階や興味・関心に応じた保育を行っていると思われますか？
6. 幼稚園では、遊びを中心とした体験を通して子どもの豊かな学びを促す指導をしていると思われますか？
7. 幼稚園は、他人を思いやる心、生命を大切にする心、きまりを守ろうとする心といった「心を育てる」教育活動を行っていると思われますか？
8. 幼稚園は、子どもをよく理解し、園児一人ひとりの性格や個性等に配慮した保育を行っていると思われますか？
9. 幼稚園では、門の開閉時に名札の確認を行い、防犯カメラを設置し、子どもの安全が守られるよう努めていますが、適切だと思われますか？
10. 幼稚園は、子どもがけがをした時や問題が起きた時等、丁寧に分かりやすく状況を伝えていきますか？
11. 幼稚園は、野菜の収穫、すいかわり、おもちつき、節分等保護者参加でない行事や日常生活の写真販売を行っていますが、良いと思われますか？
12. 幼稚園は、行事などの情報を「れんらくアプリ」「掲示板」「バス乗車口の掲示」などできちんと保護者に伝えていきますか？
13. 幼稚園は、保護者と定期的に話し合いの場(保護者参観・面談など)を設けていますが、適切だと思われますか？
14. 幼稚園は、子育て支援(預かり保育・園庭開放等)を行っていますが、適切だと思われますか？
15. 幼稚園では、お子さまの成長のために専任講師による英語・体操・サッカー・チアダンスなどの課外教室を行っています、良いと思われますか？

2. アンケート回答率 平均 98% (174/178)

今回のアンケートは学年毎に集計しました。178 名中 174 名の方にご回答いただきました。回答率は 98% と昨年の 94% から上がりました。今回はつくし組が 100% でしたが、他の学年では回答はいただきましたが、各項目で評価なしの方が 2~4 名おられました。コメントで多くのご意見をいただきましたので、園の今後に繋げていきたいと思っております。アンケートにご協力いただきありがとうございました。



3. アンケート内容と結果

アンケート全ての項目で「A そう思う」、「B ほぼそう思う」、は 98.6% でした。そして、「D そうは思わない」は 4 件、年少では、10.「けがや問題が起きた時の連絡」、年中では、9.「安全対策」と 11.「写真販売」、年長では、1.「お子さまは園生活を楽しんでいるか」でした。1.は A が 3 番目に多い項目でもありました。全てのお子さまに園で楽しく成長していただけるように心掛けていきたいと思えます。また、「C あまりそうは思わない」は 30 件 (つくし 2 件、年少 9 件、年中 12 件、年長 7 件) と、前年から大きく増えてしまいました。10.「何かあった時の連絡」が 9 件と最も多い評価をいただきました。これに関しては多くの保護者の方からは「こまめに連絡をいただき」と言うお言葉もいただいておりますが、まだまだ報告が足りないのではと周知徹底を図りたいと思えます。続いて 4 件の 8.「性格や個性に配慮した保育」でした。続いて、3 件が 5.「発達段階や興味・関心に応じた保育」と 6.「遊びを中心とした豊かな学び」でした。最も評価の高かったのは、2.「園生活、行事等での確に成長している」と 4.「くるみガーデンによる収穫体験」でした。次は 1. と 15.「専任講師による課外教室」でした。

今回のアンケートで寄せられたご意見・ご要望では、写真が高い、保護者会でも園庭を駐車場にして欲しい、セキュリティ面での不安がある、保護者間での写真のやり取りを不安視する意見などがありました。これらの貴重なご意見・ご要望は真摯に受け止め今後の改善に繋げていきたいと考えております。また、「くるみ幼稚園の魅力」もお聞きました。その中で多かったのが「明るくのびのび元気な子」という教育方針通りに、子どもたちが園生活を楽しむ中でも礼儀や規律も学んでいる、というご意見でした。また、「アットホームな感じで親しみやすい」「先生と保護者の距離が近い」、先生に対しては、「先生が明るく優しい」「担任でない先生も園児の名前も把握している」「運転手さんを含め園全体で子どもたちを見てくれる」等々のお言葉をいただきました。くるみガーデンでは、「子どもが収穫体験をして野菜を食べるようになった」という意見もありました。預かり保育、課外教室についても好評価をいただきました。今後もより良い保育に励んでいきたいと思えます。

4. 最後に

今年度卒園される園児の皆さんは新型コロナウイルス感染症も 5 類移行され、園では感染防止対策を行いつつも、いち早く行事等を、働き方改革も行いつつ、極力以前のように行ってきました。そうした中で園児は立派に成長してくれて嬉しく思っております。アンケートによる貴重なご意見、ご指摘につきましては職員一同、それらを真摯に受け止め今後の保育活動に生かしていきたいと思っております。

学校評価シート（自己評価）

越谷くるみ幼稚園

1、園の教育目標

＜教育理念＞ 明るくのびのび元気な子	
＜保育目標＞	
・ 一人一人の個性を大切にした保育	・ 自主自立を育む保育
・ 生活習慣や決まりを身に付ける保育	・ 表現する楽しさや喜びを味わう保育
＜めざす幼児像＞	
◆ 自分で工夫し すすんで遊ぶ子	◆ きまりを守って がんばる子
◆ 仲良く やさしく 思いやりのある子	

2、具体的な目標や計画

子ども達がストレスなく過ごし、幼児期における体験や学習の機会を有効に活用することを重点目標とする。
各評価項目に沿って自己点検、自己評価を実施することにより、客観的に保育活動を見て問題点を認識し、施設の改善、教育内容の充実を図る。

3、評価項目の取組及び達成状況

評価項目	結果(※)	結果の理由
(1)教育目標:子どもたちの年齢ごとの教育課程・指導計画がある。	A	「幼児期の終わりまでに育って欲しい姿」を意識して保育を行う。また、月案を作成し、それを基に指導し、週毎に評価と反省を行っている。
(2)教育環境:子どもが過ごしやすい環境が作られているか。	B	もっと自由時間を増やし、子どもがしたいことをやらせたい。
(3)教育内容:遊びを通してルールを学んだり、我慢したりといった経験を積めるような工夫をしていか。食育の推進。	A	集団での遊びを取り入れることでルールや我慢を学ぶ機会を取り入れた。 食に対する興味を促し、少しずつ食べられる量が増えてきた子が多くなった。
(4)保護者との連携:保護者との連携を密にし、意見要望を把握する。	A	特別な支援を必要とする園児が増えているので、療育や保護者と連携を取って関わっていく。 丁寧な対応を心がけ、保護者の信頼を得られるようにしている。
(5)子育て支援:保護者の要望に沿った子育て支援ができてるか。預かり保育内容は適切か。	A	預かり保育から課外教室に行くことができて保育者に喜ばれている。 預かりの利用者が増加しているので部屋や対応する先生を増やすなど臨機応変な対応が必要。

4、具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結 果	理 由
A	今回実施した自己評価結果では教諭一人一人が主旨を理解し、真摯に取り組んでいる様子がうかがえた。各個別の集計では昨年度より若干評価が下がっているが、A評価は維持されている。ただ、例年と同様に内容的にはカリキュラムが詰まり過ぎていて、保育に余裕がなくなっていると感じられる。また、保護者との連携においても対応が難しい事が増えて、支援が必要な状況を伝えるのに難しさを感じているケースが見られた。

○結果(※)について

A	十分達成されている
B	達成されている
C	取り組まれているが、成果が十分でない
D	取組が不十分である

5、今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
情報公開と保護者との連携	月次での保育目標や教育方針は園だよりで保護者に伝えているが、それをより丁寧に保護者に伝えて理解してもらうようにする。ホームページの充実、SNSの活用等時代に合った伝達方法を構築していく。また、保護者との連携は意識の多様化により、より密にしていかないと意識の行き違い等が起こりえるので今まで以上に密に連携していくことを教職員が心掛ける必要がある。
指導計画の編成	今後の保育を考えるに、ICT化やプログラミング教育など指導計画に織り込むことを考えると、現状では対応が難しく、編成を考え直す必要がある。直ぐには対応は難しいが、継続して課題として検討していく。
安全管理	安全に関しては常日頃から注意を払っているが、満三歳保育も行っているので、園庭での園児どうしの衝突事故等や遊具の使い方等による事故を避けるよう指導とチェックを強化する。また、園児の健康状態を常に把握し、水分補給をしっかり行うよう指導する。夏の暑さ対策では、熱中症指数計を活用し、30 以上は園庭での遊びを教室や室内ホールに切り替え、園児の活動は減らさないようにする。

学校評価シート（学校関係者評価）

越谷くるみ幼稚園 学校関係者評価委員会

日 時 令和7年2月12日（水）

10：40～12：15（時間）

出席者 評価委員（保護者）2人

評価委員（地域住民）2人

評価委員（教育識者）1人

1. 自己評価で設定した目標・計画、評価項目の設定は適切であったか

- ・評価項目の達成状況について、概ね理解されており、適切であったと思われる。
- ・自己評価については、ほとんどがA評価となってしまうため、基準を変更し、B評価項目もいくつか確認した。ただ総合評価としてはA判定となった。
- ・評価項目の達成状況は個人差が大きいに感じられた。

2. 評価結果の内容は適切であったか

- ・概ね適切だと思われる。
- ・自己評価で設定した評価項目が多く、課題をより明確にするためには項目を絞ったほうが良いように思われた。
- ・評価には自己の反省の部分もあり、その内容を今後に活かすように促した。

3. 今後取り組むべき課題は適切に設定されているか

- ・適切に設定されている。
- ・少子化が進み、保護者の多様化が進み、働く保護者（新2号）が増える中においては、保護者とのコミュニケーションは非常に大切です。SNSも活用して園の日常を積極的に伝えていくのは非常に良いと思われます。
- ・指導計画の見直しは常に心掛けて、適時行っていく。
- ・安全については園の運営上最も重要な課題として取り組む必要がある。

4. 今後取り組むべき課題は適切に行われているか

- ・概ね適切だと思われる。
- ・園からの情報発信はInstagramを活用し、園行事などを適時流すようにした。
- ・安全については、点検作業も行い、気が付いたことなど情報を共有し、保育者一人一人の意識を高め、漏れのないように心掛けている。